



2022~2023

# 沼田ロータリークラブ会報

イマジン ローター  
IMAGINE ROTARY

2022~2023年度 国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ

例会日…毎週火曜日 12:30 会長 桑原 滋 幹事 星野貴昭 会報編集 田辺祐己  
例会場 ホテル ベラヴィータ 事務所 沼田市下之町888 テラス沼田7階 TEL 0278-24-1177

第3136回 例会報告

2022年11月8日

記録 田辺祐己

例会予告

11/15 会員卓話 深津卓也 会員

11/22 未定

<http://www.rid2840.jp/numata/>

2022年11月15日発行 No.15

## 沼田中央RC合同例会

# ロータリーの扉を開いて、ロータリーを楽しもう

パストガバナー 田中久夫先生



## ■講演者紹介

水石清治君

お忙し中講演をこころよく受けていただき感謝申し上げます。先生は1998年高崎RC入会、2014-15年会長。地区では2011-12年米山記念奨学委員をはじめに同委員長他多くの要職を務められ、2017-18ガバナーをなされました。現在国際ロータリー第1地区ロータリー公共イメージコーディネーター補佐、米山記念奨学会常務理事を務められています。

本日は「ロータリーの扉を開いて、ロータリーを楽しもう」のテーマで講演いただきます。

## ■講演

コロナ禍で時間があり2020年末にロータリーに関して思うことをまとめてみようと思いいか月ぐらいで書き上げました。友人から幻冬舎を紹介してもらい出版をお願いしました。年間400以上の持ち込み原稿がありその内30ぐらいしか本にならない中で出版に持ち込みました。秋に出版予定でしたが、ロータリーの年度代わりが売れると思い、6月出版にねじ込みました。やはり思惑通り増強に悩むクラブに当たり5刷まで増刷され、印税は6%とたいしたことありませんが米山記念奨学会に寄付させていただいています。

「ロータリーを続ける理由とは」为什么呢。入会者が3年以内に退会することが多いのですが、彼らのイメージとかけ離れていて続かない。ベテラン会員はどうして続けられているのか。入会の論点として「ロータリーの魅力と例会の重要性」があります。どこに魅力があるのか、その中心に例会があります。例会が楽しい、楽しくないというのは自分がどう楽しく過ごせるかである。出席し誰にも承認されずに食事をして帰るだけでは続かない。居場所づくりなどこの点を改善し心満たされれば退会防止につながると考えています。

ロータリーの魅力をどう表現しているか「人生の目的を知ることができる」と言われる方がいます。哲学者で宗教家の新渡戸稲造、内村鑑三は「人生の目的は比較の完成にある」と言っています。自分自身の品格を完成形に近づけるために毎日努力しているという意味で言っています。ユーミンは現代的に「人生をエレガントに過ごしたい」と表現しました。真言宗の友人は「心を磨くこと」。京セラの故

稲森氏は「心を磨き高めること」と。人生の目的、生きることの意義を言っています。その中でロータリーの魅力は自分磨きができること。例会こそが人生の道場であると思います。

中国の孔子が論語の中に知好楽の進めがありますが、本質をつかむには知ることよりも好きになること、さらに楽しむことが大切とあります。入会3年は知ろうとする時期、その後楽しくなると好きになる。しだいに執行部になり会長に。すると楽しめるレベルとなり本物のロータリアンと成長されます。このようなことを知好楽というのだともいます。

「ロータリー精神とはなにか」哲学は知っていることをもう一度知る努力をすること。と言っていますが、ロータリー精神は「超我の奉仕」。簡単に言うと「私たちは社会においても善良でなければならない。自分の利権に有利にふるまわず、他人を大切にすること。これらを実践している」これができているのがロータリアン、皆さんです。日本人は特にゴミをむやみに捨てないなど当たり前なことを普通に実践しています。

吉田茂の側近の白洲次郎氏はケンブリッジ大学出身で戦後経済復興に尽力された方ですが、イギリスで不屈の精神を持つジョンブル魂を吹き込まれて学んだ方で、その精神の中に「高貴な方が身につけなければならない義務」という言葉があり、その義務はロータリーの組織の中にいる我々は恵まれていて、入っていない方に対しては果たすべき義務が我々にはあるということです。

日本における先達は物事の本質をつかむことのできる人はどういう条件を持っているか。ロータリアンであれば誰でもが持っているわけではなく、何か資質を持たないと本質はつかめない。人生の目的をつかめないまま過ごしているのかもしれない。

哲学者で終戦の詔勅の草案に携わった安岡正篤氏の経世瑣言に書かれていることですが、物事の本質をつかめる人の条件は、「バイテリティであるか。楽天的であるか。自己研鑽・修練ができるか。」であります。これらを得るには「古今の優れた人物に学ぶ。あらゆる人生の経験をなめつくす。」つまりロータリー世界をやさしく書いたこの本を読んで、いろいろな経験を積むことが大切です。

## 例 会 報 告

■司 会 吉野 登SAA出席委員長

■ソング 奉仕の理想 関 真一君

■来賓及び来訪ロータリアン

パストガバナー（高崎RC） 田中久夫様

### 会長の時間

桑原 滋会長

本日は田中久夫P Gをお迎えしての沼田中央RCと沼田RCとの合同研修例会です。植村会長とは1回ずつ合同例会をやりましょうと今回は研修例会になりました。本年度の沼田RCスローガンは『Enjoy Rotary with Fellowship and Service』～親睦と奉仕でロータリーを楽しもう～といたしました。あるP Gの話を紹介させていただきます。親睦については、ロータリーの例会は楽しいから行く、つまらないから行かないではなく、「例会は行くものだ」まずそこから始まる。例会を楽しむもつまらなくするも自分自身の責任で自分の思うことひとつである。仲間のロータリアンに会いに行く、これがFellowshipであると言っています。私達ロータリアンが例会に集まり、お互いに胸襟を開きながら話をして、励まし合い、エネルギーをもらい合って、そしてそれぞれの職場に帰って、また自分の職業に精を出す、これがロータリーだ、とのことです。

また奉仕については「人の何かお役に立てる喜びです。ただ一度限りの人生において、自分の為に生きたのでは、何か死ぬときに後悔するのではないか、人の役に立てる、あるいは社会の役に立てる。それが自分の達成感として喜びとして感動として、また自分のこれからの生きていくエネルギーになっていく、それがロータリーのServiceです。」と語っています。

今回、田中P Gには「Enjoy Rotary～ロータリーの扉を開いてロータリーを楽しもう」というテーマで講演をお願いしました。田中P Gの著書「ロータリークラブに入ろう」のなかで、「ロータリーはあまりにも魅力的だ。一度それを知ると簡単にはやめられない。老若男女の誰もがその虜になる。まるで酒かゴルフか恋愛のようだ。ロータリーの教えに『入りて学び、出でて奉仕せよ』がある。ロータリーは『人生の道場』だ。それとも親愛なる仲間達と一緒に学べる

「例会はどういうことをすべきか」は、シニア会員をどうとらえていくかが大切です。私も65歳を過ぎ大学を退職し楽になりました。会員が例会をどういう意識でとらえているかという、シニア会員には「きょういく」と「きょうよう」が必要。「きょういく」とは今日いく、「きょうよう」とは今日用がある、です。シニアは予定を持つことが大切です例会があることがピッタリです。中堅は仕事や家庭の充実のための高度な人脈づくり。ロータリーに入って入れば、会社や組織のトップと知り合え、仕事にどれだけ生かされるか。新会員も多様な人脈が手に入ります。これらはロータリーの大きな魅力です。そのためには例会の充実が重要です。

例会は、人生の道場、人生の目的を知る場。多様な方々との情報交換だけでなく、人生の友を作る場となります。竹馬の友とは別に年齢を重ねた中での理解や尊敬できる友、もしかしたら最後の友になるかもしれない友人を得られることになる。前原先生は心の慰安の場と言いました。四つの言葉にある「好意と友情を深めるか」で信頼でき安心した交流をできる場としてほしい。

充実した例会にするために、席順を抽選で決めました。いつも同じ席となり新人が座りづらくなり、いろいろな方と離れる場となりました。これは東京RCにメイクに行き学びました。各テーブルにマスターがいて面倒を見ていただきいろいろな話ができしました。しかも日本経済界のトップクラスの方とです。

点鐘前にテーブルの方と握手をします。会員が100名を超えると名前と顔が一致しない方も増えてきます。

クラブの各種イベントが重要です。来年度は保坂年度でイベントが多くて大変ですがチャンスです。企画から全員参加で行い、やり遂げる達成感を共有できるようにしてほしい。裏方で大変ですが失敗してもたいしたことなく、思い出に残るほうが大切です。昔の少年漫画の成功ロジックは「友情・努力・勝利」です。前例に縛られず行い、ベテラン会員は口は出さず金を出すという後押しに徹してほしいです。

会員増強のノウハウは本にありますのでお読みください。参考になればありがたく、両クラブの発展とご活躍をご祈念いたします。

『大人の学園だ』。さあロータリーの扉を開けよう。そしてロータリーを楽しもう。」とあります。田中PGの入会から、委員長、会長そしてガバナーとしての経験が書かれています。

本日は沼田中央RC、沼田RCの皆さんに一步前へ出てロータリーの扉を開けロータリーを楽しんで頂きたいと思えます。

### 幹事報告

星野貴昭幹事

◎特記事項なし

### 委員会報告

◎ニコニコ委員会

小倉 仁委員

- ・田中久夫君（高崎RC）合同例会に講師としてお伺いして。
- ・桑原 滋君 田中久夫パストガバナーをお迎えでき光栄です。著書「ロータリークラブに入ろう」を読んでより一層頑張ろう。
- ・保坂充勇君 田中パストガバナーの来訪を歓迎して。卓話を楽しみにしています。
- ・水石清治君 田中先生をお迎えでき。貴重な講演を楽しみにして。
- ・浅沼美香さん 11月8日は「いい歯の日」利根沼田地区では159名もの80歳で20本歯のある8020の方を表彰。割田一敏先生が日本歯科医師会長賞を受賞されおめでとうございます。
- ・ニコニコ一週間 田中久夫パストガバナーをお迎えして沼田中央RCとの合同例会を祝して

星野貴昭君	阿佐見卓巳君	飯島千明君
石川 潤君	今井幸吉君	小熊政則君
小倉 仁君	木下康彦君	桑原敏彦君
小暮正人君	塩浦敬之君	鈴木英俊君
関 真一君	田代経量君	津久井功君
西田俊太郎君	平井秀明君	深津卓也君
福田真盛君	松野正一君	宮澤孝幸君
持谷明宏君	柳澤一貴君	山田龍之介君
吉野 登君	割田一敏君	

◎財団BOX IN 今井幸吉副委員長

桑原 滋君	浅沼美香さん	阿佐見卓巳君
天野純一君	飯島千明君	石川 潤君
今井幸吉君	小熊政則君	小倉 仁君
小野里雅広君	木下康彦君	久保英弘君
小暮正人君	小菅茂雄君	塩浦敬之君
須田千秋さん	関 真一君	津久井功君
西田俊太郎君	平井秀明君	深津卓也君
福田真盛君	保坂充勇君	水石清治君

持谷明宏君 柳澤一貴君 吉野 登君  
割田一敏君 田代経量君

### ■植村 仁沼田中央RC会長の時間

合同例会で大変お世話になります。年度開始前に合同例会の提案を受けて、2回行うことになりました。前の合同例会は2017年3月に利根中央病院の郡先生が講演された時で5年ぶりになりました。今回は当クラブ担当で新年例会を予定しています。

当クラブの今年のスローガン「one team」は2019年のラグビーWC日本チームのスローガンと同じで、一つにまとまろうにしました。来年のラグビーWCの日本チームのスローガン「our team」ひとり一人が自分のこととして意識してまとまろうです。

来年5月21日は地区協を当クラブがホストします。保坂年度のスタートを切る大切な事業に「our team」でまとまりを強めて臨みたいと思えます。

田中パストガバナーの著書「ロータリークラブに入ろう」は山田パスト会長が田中ガバナーの時にガバナー補佐を務めた縁で会員全員に自費で配り勉強させていただきました。田中イズム「たのしく、なかよく、かつこよく」を理解させていただければと思えます。

本日設営していただいた沼田RCの皆様方には厚く御礼申し上げます。

